



碧南市民病院は
赤字が続いているが、
多くの最新鋭医療機器を持ち
財務状況は良好

市民病院の資金は、平成22年度は7億8百万円増、23年度は5億6千万円増、24年度は4億2千万円減、25年度は2億4千万円減、26年度は1億2千万円増、27年度は4億4千万円減、28年度は1億円減、29年度は2億2千万円減となりました。

市民病院は1988年（昭和63年）5月開院し、今年で約30年経過しました。平成30年3月末で、17億円程度の現金・預金・貸付金を持っています。また、29年度1年間で借入金を約7億円減少させています。さらに、医療機器などの設備投資も積極的に行っています。21年度から29年度までに導入した1億円以上の最新鋭の医療機器・システムは、マルチスライス対応CT装置（21年4月、1億5千万円）、内視鏡および画像情報システム更新（25年9月、1億円）、循環器対応バイプレーンシステム（25

年10月、1億2千万円）、病院情報システム更新（27年6月、6億7千万円）、超電導磁石式全身用MR装置（28年11月、1億9千万円）です。平成30年度中に、約7億を返済しなければなりません。借入金を新たに起こすことも可能です。従って、資金的には余裕がありますが、資金繰りが悪化しないように、今後とも努力を傾注する必要があります。

貸借対照表上の累積損失71億6千万円、資本金129億5千万円なので、まだ自己資本は約58億円あります。従って、市民病院の全資産116億円に対する自己資本58億円の割合は、50.0%であり、財務構造の健全性は十分に確保されています（一般的には、自己資本比率が30%以上であれば健全と判断される）。

しかし、大幅な赤字が毎年続いているようであるなら、抜本的な改革が必要となってきます。

市民の皆さん、市民病院が今後とも、皆さんの生命と健康を守り、存在し続けるために、地元の開業医の先生では対応できない病気の場合、まず市民病院を紹介してもらいましょう。安城更生病院や刈谷豊田総合病院の方が患者さんにとってより良い医療を提供できると判断する場合には、市民病院から紹介することになっていきますので、この順序で病院にかかるよう、ご協力お願いします。市民病院をみんなで盛り上げましょう。

消防団協力事業所表示制度

問合せ 防災課地域防災係

地域防災の要である消防団の活性化には、団員が活動しやすい環境が必要であり、事業所の理解と協力が不可欠です。

市では、従業員が消防団に入団している事業所や消防団の活動に配慮している事業所に「消防団協力事業所表示証」を交付しています。

平成30年度は、35事業所を消防団協力事業所として認定しました。29年度に認定した25事業所を含めると、60事業所を消防団協力事業所として認定しています。

消防団活動へのご理解、ご協力ありがとうございます。



協力事業所（平成30年10月1日現在、50音順）

アイシン機工(株)、アイシン辰栄(株)、アイシン精機(株)新川工場、愛知県中央信用組合、あいち中央農業協同組合、旭鉄工(株)、石川鋳造(株)、(株)石実メッキ工業所、石橋建設興業(株)、(株)磯貝製作所、(有)イソガイ鋲金塗装、(有)いそ忠、(株)井戸森工事、永代屋仏壇店、(株)エイプラン、(株)岡田組、(株)桶元、(株)オサダツール、(株)梶川建設、(有)片山内装、カリツー(株)刈谷中央物流センター、(株)キヌウラテクノ、木村建設(株)、(株)ケーエスケー、(株)古久根、コクネ製作(株)、黒龍産業(株)、寿金属工業(株)碧南工場、小林哲三事務所、(株)サカン元建設、(資)さし又木工所、三和(株)、(株)ジェネックス、(資)下幾商店、(有)シュヴァインハイム、親和建設(株)、杉浦板金、スギ製菓(株)、(株)スズキオート広常、中庸スプリング(株)、デイサービス春日・(有)ふじもと介護サービス、(株)東栄社、(株)豊田自動織機碧南工場、(株)鳥居土建、日進工業(株)、日新製鋼(株)衣浦製造所、日本郵便(株)碧南郵便局、幡豆工業(株)、(株)長谷基業、原田オート、(株)ビジネスセンター岬屋、(株)平岩鉄工所、(株)平松木型製作所、(株)丸久水産、丸共通運(株)、丸八重整備(株)、三河車体サービス、(株)森田建築、山田建築、(有)山田自動車